

オンライン上映会

+
ワンストーン生徒&先生とのライブQ&A



RISE

VOICE OF A NEW GENERATION



2024.3.30 [SAT]

9:00-11:00 10:00~
ライブQ&A

参加費無料!

お申込みはこちら ▶

<https://bit.ly/RISE033024>



米国アイダホ州都ボイジー市 (人口23万人) にあるワン・ストーン ラボ51高校は、最もプロGRESSブな、全米で注目の学校のひとつだ。『RISE: VOICE OF A NEW GENERATION』は、本校の生徒とコーチの1年間を追ったドキュメンタリー映像である。極めてユニークな生徒主導型の学校であるこの生徒たちが未来なら、未来は明るい。

全米で注目の先端校、ワンストーンラボ51高校を舞台としたドキュメンタリー作品、

『RISE: VOICE OF A NEW GENERATION (立ち上がり、新世代の声)』上映会とライブQ&Aイベント(通訳つき)

ワンストーン ラボ51高校

ライブQ&A参加者



JUN CAMPION

コーチ
専門分野は音楽



SOPHIA BRONNER

高校2年生
日本の大学に進学検討中



KELLAN REAGAN

高校3年生
ワンストーン 理事

例えば、こんな問いへのヒントが見つかります。

- ✓ 生徒が自らの声(ヴォイス)*を見つけ、育てる学び場とは？
- ✓ 成績ではなく個々の成長にフォーカスした学習体験や評価で大学に行けるの？
- ✓ 学校運営のリーダーシップを生徒に任せるってどういうこと？

*「生徒の声(ヴォイス)」とは、自分が何者で、何を信じ、何に価値を見出しているかを自信を持って話せる能力です。(自らの声を持てると)より主体性を発揮しながら学び、行動することができます。ワンストーンで自らの声を持てるようになった生徒は、自らの強みや、コミュニティの何にどう貢献できるかへの理解が深まっています。そして、リフレクション、オーナーシップ、パッション、そして自分を曝け出すといった力を日々の活動の中で磨き、発揮しています。」

— チャド・カールソン、ワンストーン、リサーチ&デザインディレクター

映画について

アイダホ州都ボイジーにある、理事会の2/3が高校生という非営利団体、ワンストーンの世界。生徒の情熱から始まる社会貢献活動、Project for Good (良い社会のためのプロジェクト)に取り組む放課後プログラムとして2008年にスタートしたのち、高校生からの強い熱意により、全日制のラボ・51高校が2016年に立ち上がった。本作品は、高校立ち上げの2年目である2017年から2018年にかけて撮影され、アメリカで最も先進的な学校のひとつに選ばれたこの学校を立ち上げた生徒とコーチの道のりを記録している。新しい道を模索する生徒たちによって運営され、彼らの声(ヴォイス)が教育と世界の未来を形作る、全米で唯一の学校の物語である。自分らしく社会に貢献し、ウェルビーイングを維持できる大人を育てるための準備機関として相応しい高校のあり方だけでなく、大人が高校生を信じることで駆動する大きな成長へのイメージができる作品である。



監督について

ジョン・ロングは20年以上メディア・クリエイターとして活躍し、ユニバーサル・スタジオ、IMAX、ディズニー、ユニバーサル、エンターテインメント・ワン、ナショナル・ジオグラフィック、PBSなどの企業で、映画、マルチプラットフォームのストーリーテリング・イニシアチブ、テレビ番組の開発、制作、監督を行ってきた。エンタテインメント、テクノロジー、配給、教育の交差点を橋渡し、意義あるプロジェクトを生み出す革新的な方法を見つけることに情熱を注いでいる。IMAX®シアター向けに『EXTREME』を制作し、史上最も成功したドキュメンタリーのひとつとなったほか、ユニバーサル向けに『THE SEARCH FOR FREEDOM』を制作。彼のプロジェクトの多くは、Outward Bound、PBS、World Wildlife Fundなどの組織と協力し、地域社会との関わりや教育的イニシアチブを広範囲にわたって行っている。